様式第６号

施策評価表

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（課長等）	29 年 9 月 28 日
２次評価日（部長等）	29 年 9 月 29 日

１ 施策の概要

施策名	医療体制の充実			コード	4-4
この施策の主な内容（細施策）	（1）地域医療体制の推進　（2）岡谷市病院事業の整備・充実　（3）岡谷市看護専門学校の充実				
第４次総合計画におけるこの施策の目的	高齢化の進行や医療技術の進歩、住民意識の変化や医療を取り巻く環境が大きく変わる中、誰もが安心して医療を受けることができる環境整備を図る。				
担当部課	部 健康福祉部	課等	健康推進課	作成者	中村　良則

●施策の実施内容（DO）

２ 施策指標の達成状況

＊第4次総合計画における目標指標の達成状況（最終年度：30年度）

	施策指標名	単位	26年度 実績値	27年度 実績値	28年度 目標値	28年度 実績値	28年度 達成率	29年度 目標値	30年度 目標値
①	年間総受診者数①	人	3,477	3,288	3,288	2,893	88.0%	2,893	2,893
	指標説明	休日在宅当番医制度により、医療機関を受診した人数　目標値は前年度時実績							
②	年間総受診者数②	人	484	427	427	463	108.4%	463	463
	指標説明	小児夜間急病センターを受診した人数　目標値は前年度時実績							
③	看護師国家試験合格者数	人		21	31	30	96.8%	25	28
	指標説明	岡谷市看護専門学校当該年度卒業生の看護師国家試験合格者数　目標は当該年度の卒業生数（１００％合格目標）							

３ 施策全体にかかる合計コストの推移

＊項目6より「直接事業費」「人件費」の合計を自動表示　　単位：千円

	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
直接事業費	46,204	66,000	46,432	23,605
人件費	43,200	59,200	66,400	66,400
合計コスト	89,404	125,200	112,832	90,005

●施策の評価（CHECK）

４ 施策の現状評価

＊28年度に施策の目的がどこまで達成できたか、施策の進行状況に関する順調／不調の判断

医療体制については、初期救急医療体制として、医師会・歯科医師会などの協力により、休日在宅当番医制度、小児夜間急病センターの運営を実施している。第二次救急医療では、医療圏内の市町村や医療機関の協力による病院輪番制度がとられており、更に第三次救急救命医療体制がとられている。

病院整備事業では、平成２７年１０月１４日に岡谷市民病院が開院し、平成２８年には駐車場整備を含め全ての事業が完了した。

看護専門学校は平成２６年度に開校した。平成２７年度卒業生２１名、看護師国家試験合格者２１名、平成２８年度卒業生３１名、看護師国家試験合格者３０名。

＊岡谷市の現状のうち、この施策にとって強み／弱みとなる要因

岡谷市の強み	新岡谷市民病院の開院、看護専門学校の開校等により、医療機能の充実、看護師確保のための基盤整備が図られている。
岡谷市の弱み	後継者不足等により診療所が減少している。 岡谷市民病院において、診療科によっては医師が不足している。

５ 今後の外部環境の変化

＊29年度以降に予測される社会・経済などの環境変化のうち、この施策に具体的に影響する要因

有利に働くもの	
不利に働くもの	医師会員の高齢化

●改善の内容（ACTION）／次年度の計画（PLAN）

6 平成30年度　施策を構成する事務事業の方向性

●基本的な考え方

＊優先して実施する分野＝優先度がA・Bの事業：拡大する事業や新規事業の内容、優先的に実施する理由
＊見直しを行う分野　　＝優先度がC・Dの事業：見直しの内容、見直しや廃止をする理由

優先して実施する分野	医療を担う人材の安定的な確保 関係医療機関の連携強化 看護専門学校卒業生の看護師国家試験合格率の増
見直しを行う分野	

●30年度の優先度

＊方向性が「継続」の事業についてA～Cを、「新規事業」の事業についてAをランク付け。方向性が廃止、完了、統合となっている場合は「-」を付ける。

直接事業費・人件費の単位：千円

No	新規事業	様式	実施義務	事務事業名	成果指標			直接事業費	人件費	妥当性	方向性	優先度
					指標名	単位	26年度	26年度	26年度			
							27年度	27年度	27年度			
							28年度	28年度	28年度			
							29年度	29年度	29年度			
1		一般	なし	地域医療体制推進事業	年間総受診者数	人	3,477	4,228	3,200	高い	継続して実施	B：現状維持
							3,288	4,196	3,200			
							2,893	1,758	2,400			
							2,893	1,917	2,400			
2		公共施設	なし	看護専門学校運営事業	施設稼働率	%	—	41,976	40,000	高い	継続して実施	B：現状維持
							—	61,804	56,000			
							—	44,674	64,000			
							—	21,688	64,000			
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												